

外来種除去回収

～鹿児島県・鶴田ダム～

2019年夏：鹿児島県・鶴田ダムにて外来種のホテイアオイ・ボタンウキクサが爆発的に繁茂し湖面の7割を覆いつくしました。水質悪化や下流域への拡大が懸念され、当社の水草除去船が導入されることになり3年に及ぶ回収作業の結果、24,300トンもの外来種を回収・除去することに成功しました。



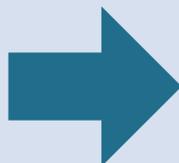
Aquatic Weed Hunter WH-2400



Aquatic Weed Hunter WH-1800



【施工前】



【施工後】

爆発的に増える青い悪魔

南アメリカ原産のホテイアオイと中南米原産と言われるボタンウキクサは水面に浮かびながら生育しています。条件が揃うと一ヶ月で植物の量が10倍ずつ増えていくこともあります。



ホテイアオイ
提供：環境省



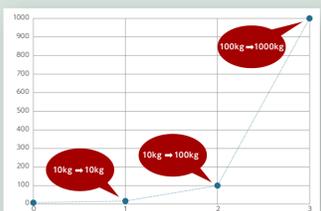
ボタンウキクサ
提供：環境省

3ヶ月で1000倍になることも!

ホテイアオイやボタンウキクサは、条件が揃うと一ヶ月で植物の量が10倍ほどに増えていくこともあります。水面が埋め尽くされると、水中に光が入らず植物プランクトンが死滅し、それをエサにする動物プランクトンや魚なども生きていけなくなります。また、冬場に一齐に枯死すると水質の悪化もまねきます。



水草に覆いつくされた鶴田ダム湖(さつま町)



HYDROMOG-SRX105

現在、国内ではナガエツルノゲイトウ・オオカナダモ・ホテイアオイ・ボタンウキクサといった外来種が猛威を振るっており、船舶の航行障害、水質悪化、景観悪化、異臭発生、在来種の絶滅等、生態系に様々な悪影響を及ぼしており、当社の技術と経験が水域環境保全問題の解決に役立っております。